

---

## プレスリリース

---

ロンドン、2022年11月22日午前0時1分

### プラチナは2023年に9トン不足する見込み 2022年の余剰が縮小

- 需要は19%増加するが、供給の増加は2%に留まるため、2023年はプラチナの不足予想
- 2022年の供給予想を17%下方修正
- 自動車需要は増加基調を維持、2022年は12%増、2023年は11%増
- 経済には逆風が吹いているが、2023年の工業需要は10%増、10年平均を優に上回る
- 2023年地金およびコイン需要予想は49%急増し、投資需要全体が良好

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2022年第3四半期の *Platinum Quarterly* を発表しました。この発表では、2022年通期の修正予測および2023年の初回予測が含まれています。

2023年の世界のプラチナ需要は19%増加し、242トンになる一方、供給の伸びは2%に留まり、232トンになるため、市場は9トンの不足になると予想されています。

供給の制約に加えて、地金およびコインへの需要が増加したため、2022年の市場の余剰予想は17%（5トン）下方修正され、25トンになりました。2022年の余剰から2023年の不足への市場の需給バランスの大きな転換は、110万オンスを超えると予想されています。

さらに、第3四半期を通して、中国への輸入量が極めて高水準であることが、世界的には余剰であっても、現物市場が継続的に逼迫している原因です。今年の他の四半期と同様に、こうした輸入は中国で特定される需要を大幅に上回っており、主にプラチナETFと取引所在庫からの大規模な資金流失でほぼ相殺されました。年初来では、中国へのこうした超過輸入は、2022年の余剰予想をはるかに超え、既に120万オンスですが、公開されている需給データでは捉えられていません。

#### 2022年の総供給は10%減少し、低調に留まると予想

かなり強い逆風に見舞われた結果、2022年の当初のプラチナの総供給予想は再度下方修正され、現在では前年比10%減少すると予想されています。オペレーションに課題があったため、2022年第3四半期の精製プラチナ生産は前年比11%（5トン）減少しました。鉱山供給の70%超を占める南アフリカでは、当四半期に18%減少し、保守管理および電力供給が課題となっています。2022年の世界の鉱山供給は、前年比で9%（-18トン）縮小し、175トンとなり、コロナ禍前の2019年の水準を約7%下回っています。2023年も混乱が続く可能性が高く、やや増加（2%、3トン）して、前年比178トンになると予想されています。

2022年第3四半期は、世界のリサイクルが低迷し、コロナ禍の影響を受けた2020年第2四半期以降で最低水準でした。これは主に、廃車の供給が限定的であったため、自動車触媒の供給が減少したことによります。2023年には新車生産台数が増加し、スクラップの自動車触媒供給が増加するため、世界のリサイクルは4%拡大すると予想されています。

#### 自動車需要の伸び傾向は2023年にかけて続く見通し

2022年第3四半期の自動車のプラチナ需要は、非常に低調だった2021年第3四半期が基準であったため、前年比で急増しました（25%、4トン）。この大部分は、サプライチェーン

における問題が緩和したため、普通乗用車の生産が 27%増加したことが原因です。乗用車生産台数の増加、中国およびインドにおける重量車両の排気ガス規制の強化、パラジウムの代替としてのプラチナ使用の増加を受けて、今年のプラチナ需要は 12%（10 トン）増加し、92 トンになる見込みです。プラチナのパラジウム代替は 2022 年に 11 トンに達し、来年は 16 トンに達すると予想されています。これは 2021 年の 7 トンから倍以上に増加しています。2023 年の自動車需要は 2022 年と同程度の伸び、11%（10 トン）増の 102 トンが予想されています。

#### **宝飾品需要は、引き続き一貫している**

2022 年第 3 四半期の宝飾品需要は、2021 年第 3 四半期から前年比 1%（-0.1 トン）減の 15 トンとなりました。2022 年通期の宝飾品需要は、前年比横ばいの 61 トンが予想されています。欧州、北米、インド、日本の成長が、中国の低迷を完全に相殺することはできませんでしたが、年初の需要予測からは改善されます。2023 年については、需要は横ばいの 61 トンになると予想されています。

#### **2023 年の工業需要は 10%増の見通し**

2022 年第 3 四半期の工業需要は前年比 2%（+0.3 トン）増加しましたが、2022 年は新規工業生産設備の立ち上げによる需要が少なかったため、過去最高となった 2021 年と比較して、2022 年通期は 14%（11 トン）減少すると予想されています。それでも、2022 年はプラチナの工業需要が過去 3 番目に大きな 66 トンとなります。

この傾向は 2023 年にかけて続くと思われる。ガラス業界の需要が著しく伸びており、2023 年は 10%増の 72 トンになり、過去 2 番目に好調な年となりそうです。生産能力の拡大と、中国における堅調な需要の継続、エジプトにおけるガラスファイバープラントプロジェクトが牽引役となり、ガラス需要は 52%増の 15 トンになると予想されています。その他には、化学セクター（+6%、+1 トン）および医療セクター（+3%、+0.2 トン）が増加すると予想されています。

#### **地金およびコイン需要が 49%急騰したため、2023 年の投資需要は大幅増の見込み**

2022 年第 3 四半期の地金およびコイン投資は前年比 12%減少しましたが、日本における売り越しが反転したため、前四半期比では 29%改善しました。地金およびコイン需要は依然として堅調ですが、取引所在庫（-4 トン）や ETF 解約（-7 トン）による資金流出を相殺することができなかつたため、2022 年第 3 四半期は 8 トンの純減となりました。地金およびコイン需要は、今年 2%（+0.2 トン）増加し、11 トンとなると予想されています。これも、取引所（-10 トン）および ETF 解約（-17 トン）からの資金流出を相殺できなかったため、年間の純減は 16 トンとなります。

来年は、プラチナの地金およびコイン需要は 49%（+5 トン）増の 16 トンと、3 年ぶり高水準になると予想されています。北米および欧州の生産業者は、金や銀の弱い需要を反映し、生産能力をプラチナに振り向け、日本市場が売却から純投資に反転するためです。一方、取引所在庫（-1 トン）および ETF（-9 トン）からの流失は鈍化するため、2023 年は 7 トンの純投資になると予想されています。

#### **ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond（トレヴァー・レイモンド）CEO は以下のように述べています。**

「2022 年は経済に対する逆風がずっと吹き荒れていましたが、2023 年も吹き荒れると予想されています。ただし、プラチナ市場は 2 年連続で大規模な余剰となった後、不足になると予想されています。これは、経済見通しが優れないにもかかわらず、供給がコロナ禍前の 2019 年の水準や需要の成長を依然としてかなり下回っていることを反映しています。プラチナ価格の底堅さは、主に代替利用と使用量の増加を受けた自動車需要の成長と、既に決定済みの工業生産能力の拡大を反映しています。これにより、景気後退が予想される中でも、プ

ラチナは需要が成長し続けるという点で、他のコモディティと比べると特異な立場にあります。

「2023年を不足に反転させたのは、中国への巨額のプラチナ輸入です。中国への輸入は、特定された需要を超えています。この傾向は2021年初め以来続いており、直近では250万オンスになっています。この超過分は、公表されている需要データには反映されていません。これらの超過輸入は使用されるにせよ、在庫として保有されるにせよ、2021年および2022年の世界の余剰合計を超えており、中国国内の輸出規制により、2023年の不足に対応するために、欧米市場に再参入することはないでしょう。これにより、来年のプラチナ市場が一層逼迫する可能性があります。

「さらに、最近の国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）で、脱炭素化がこれまで以上に必須であることが強調されました。プラチナを含有する電極から生成され、天然ガスに代わって使用されるようになる、あるいは燃料電池式電気自動車のエネルギー源として、グリーン水素はエネルギーの移行過程で極めて重大な役割を果たしています。2023年の水素関連のプラチナ需要は、逼迫した市場で比較的小規模ですが、中期的には大きく成長すると予想されているため、この分野への投資を模索する投資家に選択肢を提供し、プラチナの投資ケースを一段と強化します。」

プラチナ供給バランス (トン)	2019	2020	2021	2022年予想	2023年予想	2022年予想/2021年成長率 (%)	2023年予想/2022年成長率 (%)	2021年第3四半期	2021年第2四半期	2021年第1四半期
<b>供給</b>										
<b>鉱山</b>										
南アフリカ	189	155	196	176	178	-10%	1%	49	48	44
ジンバブエ	136	103	146	125	126	-14%	1%	37	35	31
北米	14	14	15	15	16	-1%	5%	4	4	4
ロシア	11	10	8	8	10	-2%	19%	2	2	2
その他	22	22	20	21	20	4%	-4%	5	5	6
生産者製品在庫における増減 (+/-)	5	6	6	6	6	-1%	0%	2	2	2
<b>鉱山からの供給総量</b>	<b>189</b>	<b>153</b>	<b>193</b>	<b>175</b>	<b>178</b>	<b>-9%</b>	<b>2%</b>	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>42</b>
<b>リサイクル</b>										
自動車触媒	66	60	60	52	54	-14%	4%	14	14	12
宝飾品	49	45	45	38	40	-15%	5%	10	10	9
工業	15	13	13	12	12	-12%	3%	3	3	3
工業	2	2	2	2	2	3%	2%	1	1	1
<b>総供給量</b>	<b>255</b>	<b>213</b>	<b>253</b>	<b>227</b>	<b>232</b>	<b>-10%</b>	<b>2%</b>	<b>62</b>	<b>61</b>	<b>54</b>
<b>需要</b>										
<b>自動車</b>										
自動車触媒	89	75	82	92	102	12%	11%	18	22	22
ノンロード	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†
<b>宝飾品</b>										
宝飾品	65	57	61	61	61	0%	0%	15	15	15
<b>工業</b>										
化学	66	65	76	66	72	-14%	10%	17	18	17
石油	21	22	20	19	21	-5%	6%	5	5	5
電気	7	3	5	6	6	17%	-10%	1	2	2
ガラス	4	4	4	3	3	-19%	-3%	1	1	1
医療	7	13	22	10	15	-55%	52%	3	3	3
その他	9	8	8	9	9	3%	3%	2	2	2
その他	18	16	16	18	19	11%	3%	4	5	4
<b>投資</b>										
地金、コインの増減	38	48	-1	-16	7	N/A	N/A	-9	-4	-8
ETF保有高の増減	8	18	10	11	16	2%	49%	3	2	3
取引所在庫の増減	31	16	-7	-17	-9	N/A	N/A	-7	-3	-7
取引所在庫の増減	-1	14	-4	-10	-1	N/A	N/A	-5	-4	-4
<b>総需要</b>	<b>260</b>	<b>245</b>	<b>218</b>	<b>202</b>	<b>242</b>	<b>-7%</b>	<b>19%</b>	<b>41</b>	<b>51</b>	<b>46</b>
<b>残存量</b>										
残存量	-4	-32	36	25	-9	-30%	N/A	20	10	8
<b>地上在庫</b>										
地上在庫	109**	77	113	138	128	22%	-7%			

出典: Metals Focus 2019 - 2023

注記:

- \*\* 2018年12月31日現在の地上在庫 3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-ENDS-

## 編集者への注記：

### 『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。プラチナ金属市場の権威ある独立機関である WPIC への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

### World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル、WPIC®) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

### Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト [www.metalsfocus.com](http://www.metalsfocus.com) をご覧ください。

### プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量 (精製済みオンス) の 73%~76% は、主に鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31% から 42% の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 28% となっています (過去 5 年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 28% を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去

5 年間は総需要の-1%から 20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

#### **免責事項**

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。